

聖書通信-5 神は人類を見捨てたのか？

歴史は語る

人間の歴史をひもとくとときそこには 争い 戦争 飢え 飢饉 疫病 災厄 そして死の記録で満ちています。

今からわずか77年前まで世界は第二次世界大戦の嵐が吹きまくっていました。

今日 戦争の脅威は去ったでしょうか。全く逆です。

中国の拡大政策は世界にとって今や脅威になりつつあります。北朝鮮は核を初め兵器を今までになく強力なものにしようとしています。また中東情勢は流動的で危ういものです。またロシアも機会があるならば勢力拡大を狙っています。

2022年2月 恐れていた事態が発生しました。ロシアが隣国ウクライナに侵攻したのです。

これはまだ端緒に過ぎないことを聖書は示しています。

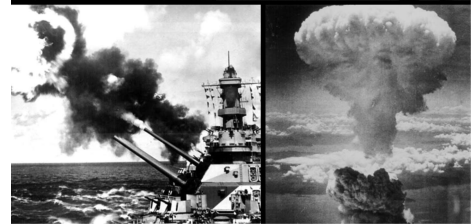
世界の警察と言われたアメリカは勢力が衰えており、ヨーロッパも同様の状況に陥っています。

世界はますます不安定になっています。

また戦争の武器も以前とは違いより強力になり、破壊力は格段に強くなっています。その最たる武器である核兵器は世界中で1万4千近くあり、少しでも使われるなら取り返しのつかない破壊を人類にもたらすでしょう。

再び世界大戦が起きるならば人類存亡の危機に立たされるのは明らかです。

地球の美しさは偶然 それとも神の意志・・・



問題の原因

宇宙を創造し、地球を整え、人類を造られた方がおられるなら、このような状況を見てどのように感じているのでしょうか。
人間は見捨てられたのでしょうか。

もし神が行動されないとすればいつか人類は恐竜のように滅び、地球から消え去ってしまうかもしれません。
神は行動されないのでしょうか。

その答えを考える前にどうしてこのような状況に陥ってしまったのか考察してみましよう。
聖書はその答えを与えている

聖書はその答えを簡潔に述べています。

神が人間を創造されたとき一つの掟を与えました。
しかし人間はその掟を守ることが出来ず神に背いてしまったのです。

それ以来人間は苦しみと悲しみの歴史を刻んできました。

その根本原因を聖書は次のように述べています。

「人はそれぞれ、自分の欲望に引かれて惑わされることにより、試されるのです。
次いで欲望は、はらんだときに、罪を産みます。そして罪は、遂げられたときに、死を生み出すのです。」
(ヤコブ 1:14,15)

「人々の中の衝突や対立の原因は何ですか。罪深い欲望ではないのでしょうか。
欲しがりますが、得られません。欲を膨らませますが、容易に得られません。そのため憎しみを募らせ、対立し、衝突します。」
(ヤコブ 4:1,2)

そうです。欲望がその根本原因であることを示しています。

神は人類を見捨て新たな人類を創造することも出来ました。
しかし神はそうされませんでした。人類を見捨てず救うための手立てを考え打ち立てたのです。

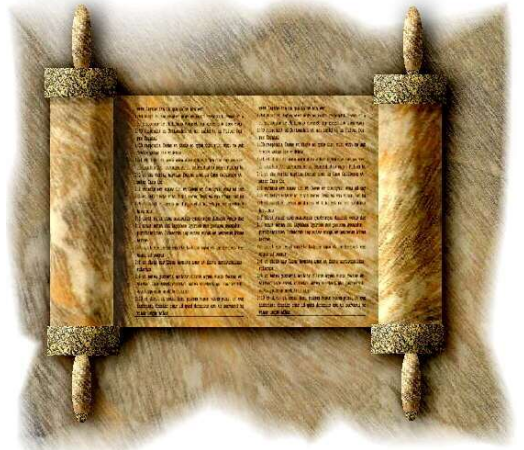
まさに「神は愛である」と聖書は述べていますが、人類を救うことによってそのことが実証されようとしているのです。

人類は救われるのか

ではどのように人類を救うのでしょうか。

その答えが人類が罪に陥った時、直ちに与えられました。

次の神の言葉に注目してください。



「そしてわたしは、お前と女との間、またお前の胤と女の胤との間に敵意を置く。彼はお前の頭を砕き、お前は彼のかかとかみつくだらう」。
創世記 3:15

この言葉を解説すると

人類を惑わした「お前」つまり蛇であるサタンを打ち砕く「女の胤」つまり人類から救世主が現れることを神が約束されたのです。

ではこの「女の胤」つまり救世主はどのように明らかになっていくのでしょうか。人類を救うためにどのようなことをしてくださるのでしょうか。最終的に人類はどのようにになりますか。

その答えは全て聖書に書き記されました。

そして人類は最終的に神に服するものとなり、一切の呪いから解放されることを示しています。

そのことを聖書は次のように描写しています。

また私は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去っており、海はもはやない。さらに見ると、聖なる都市である新しいエルサレムが、花婿のために着飾った花嫁のように、天から、神のもとから下ってきた。

その時、王座から大きな声がした。「見なさい！ 神の天幕が人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになるのです。神は人々の目から全ての涙を拭い去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです」。(啓示21:1-3)

次回 その女の胤 つまり救い主はどのように表されていくかについて記したいと思います。

聖書に希望を置く人々

